

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 20-001
 担当 山田
 内線等 417

PDCA	事務事業名	保育園管理事務	部課等名	健康子ども部 幼児保育課 保育担当				
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち						
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進						
		基本施策： 2. 幼児教育・保育						
		個別施策： ①目標に沿った幼児教育・保育の推進						
	根拠法令等	児童福祉法第24条に規定する児童の保育を実施する保育園等の管理運営事務						
	対象・目的	市立こども園2カ所、市立保育園13カ所、民間こども園1カ所、民間保育所4カ所、小規模保育事業所4カ所を適正かつ円滑に運営し保育業務を実施することを目的とし、保育士の資質向上に努めるとともに、保育園入所等に関する事務を適切に行う。						
	目的を達成するための手段・活動内容	保育園等に通う園児の児童台帳の管理及び定員管理、園児の入退園や保育料の管理事務、研修・講習会などを行う。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
		①研修参加人数(保育士)	1,433	1,365	1,293	人		
		②保育所入園延べ人数	29,734	30,570	30,555	人		
		事業費	8,289	23,610	6,975	千円		
		人件費	18,591	20,169	20,635	千円		
		総事業費	26,880	43,779	27,610	千円		
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①保育士一人あたりの研修費	570	575	471	円/人			
	②児童一人あたりの管理事務費	904	1,432	904	円/人			
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
①保育士の人事評価(執務態度・能力評価)平均点		実績値	30.85	30.74	30.93	点		
		目標値	35.0	35.0	35.0			
②保育園等での教育・保育の満足度(あてはまる又はややあてはまる)の割合		実績値	94.6	97.0	96.9	%		
		目標値	90.0	90.0	90.0			
	実績値							
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	B 新型コロナウイルスを起因とする緊急事態宣言に基づく登園自粛要請の対応や新型コロナウイルスのまん延防止のため各園における消毒業務など、前例のない事態に対して適正に対処することができた。人事評価の平均点は、目標値に到達することが叶わなかったが、新型コロナウイルス感染症の禍中においても、オンラインによる研修等を受講するなど柔軟な対応をとることで保育の質を保つことができ、保護者からのアンケートでは、目標値を上回る結果を得ることができた。また、登園自粛要請や臨時休園に基づく保育料等の日割り計算についても適正に管理、徴収することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 今後拡充していく保育園のこども園化に向け、人事交流を活発化していき、幼保一体化に向けた準備を進めていく。また、近年対応が必要になっている障がい児の十分な理解と障がい児支援のしくみについての理解を深める研修を実施するとともに、保育の質の向上を図るための研修を実施し、保護者アンケートの実績値の向上を図る。						
	令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①保育士の人事評価(執務態度・能力評価)平均点				35	点	
	②保育園での教育・保育の満足度(あてはまる又はややあてはまる)の割合				90	%		